

# アプリのこと

平成30年11月25日発行  
つどいの家・アプリ編集  
〒982-0816  
仙台市太白区山田本町 3-20  
TEL 022-743-1882  
FAX 022-743-1883



## スポーツの秋!

## アプリ運動会開催!

秋といえば、スポーツ!! 体育の日に、ミント・バジル・カモミールグループ  
合同で大運動会を行ないました。グループ対抗の綱引きと借り物競争で、利用  
者、職員共に本気モードで汗を流し大盛り上がりのイベントとなりました!



# ひとりごと ~実習とは~

アプリには、他法人職員、教員課程大学生、そして中学生の職場体験などたくさんの方が実習に来てくれます。

ネットで実習という意味を調べると「講義などで学んだ技術や方法などを実地または実物にあたって学ぶこと」とあります。アプリでの実習は、実技や方法など学ぶには短い期間ではありますが、実習の後は、それぞれの学生さんが感想を話してくれます。

感想の多くは、「実習を通じて、障がいのある人と関われ、よい体験になりました」「福祉の仕事は大変そうだと思います」など。しかし、今回の中学生職場体験の感想には驚きました。「今回、学んだことを将来に生かし、大人になったら、障がいを持っている方がいたら支えていきたいと思いました。」「はじめ障害者やアプリに行く人は怖いというイメージがありました。でも、それは違いました。また、アプリの皆様に出会に行きたいと思っています。」という感想で、深い意味があり、とても感動しました。

実習は、利用者本人を中心に、実習する人の視野を広げたり、感性を磨いたりすることを通して、障がいを理解することが目標であると感じました。利用者においては、「してあげている」「させてあげている」などの関係性ではなく、それ以上の役割を担っているのですね。

中学生さんへ。アプリを職場体験の場を選んでくれて、本当にありがとうございました。

(記：大累)

## 研修報告～国際福祉機器展@幕張メッセ～

10月10日から開催された国際福祉機器展を観覧してきました。国際的な福祉機器の展示会ということもあり、多岐多様な最新機器を見ることができました。

車イスを例にあげると、階段を昇り降りできるタイプや小指一本で持ち上げられる超軽量のタイプ、利用者に車イス自体が自動でついていき、利用者が必要な時に乗

ることができるタイプなどの展示がありました。

車イスの他にも福祉の現場で働く職員をサポートする移乗用のリフトや喀痰吸引練習用の機器、お風呂の底が上下する浴槽、後付けがシンプルで簡単な手すり（取り付け位置や高さ、再度後からの変更も自由）など、多種多様な展示がありました。また前述したハードウェアばかりでなく、スマートフォンを使い指で書いた文字を音声（言葉）に変換するアプリや職員のシフト表や配車予定表、勤怠状況を一括で管理できるパソコンソフトウェアなどの展示もありました。

今回の国際福祉機器展は私個人ばかりでなく、利用者や他の職員にも価値のある研修となりました。(記：岡崎)





# つどいの家後援会 講演会を開催しました！

10月25日につどいの家後援会による講演会「地域の中でありのままに生きる」を開催しました。神奈川県川崎市で社会福祉法人あおぞら共生会副理事長を始め、様々な委員としてご活躍の明石洋子氏を講師としてお招きし、午前と午後の2回に分け講演していただきました。当日は、福祉職員はもちろんのこと、学生や地域の方にご参加いただきました。当日参加されたアプリ保護者の感想を紹介したいと思います。



○娘が生まれて以来、本当に必死で生きてきたという思いです。明石氏の講演をお聞きして息子さんが娘と同年ということもあってか、いままでの生きざまを振り返ったような気持ちでした。ただ、明石氏のように「地域でありのままに生きる」なんて訳には行きませんでした。娘を「寝たきりにしてはいけない！」という思いばかりで娘にとって親は意思決定を支援できていたのだろうか？親は敵ではなかったのだろうか？いや、あの辛さを乗り越えたから今がある…。と自問自答していました。脳性まひとわかってから、主人と共に脳性まひを理解しようといろんな専門書を読み、わからない語句があるとドクターに質問し「お母さん！何を読まれているんですか？」と言われたものでした。今はもう新たなことにチャレンジするのではなく、今まで娘が獲得した能力(知力、機能面)を低下させることなく、より穏やかに充実した日々を、家族と共に過ごしながら親亡き後への生活設計に導いていけたらという思いをさらに認識した講演会でした。

○NHK テレビで紹介された知的発達障がいと重い自閉症を持つ明石洋子さんの長男徹之さんは、映像の中で老人ホームにて清掃員としていきいきと働く姿が映し出されていました。「自分で決めると(自己決定)頑張ることができる」という言葉が印象に残りました。講演では、地域の方がいっぱい支援してくれたと話されていましたが、障がいを理解してもらうために通信を作成し発信し続ける努力が素晴らしいと思いました。

○ひとつ：講演会終了1時間後に始まる予定に遅れないようにと急いで移動する中で私がやったこと＝7人の方へメールや電話を入れて明石洋子さんの第2部の講演会を聞きに行くように勧めたこと。

ふたつ：翌日の朝に私がやったこと＝息子の着替えの服を色違いで2枚並べて「どっちを着る？」と選ばせたこと。手で押しつけられましたが翌日も挑戦。

いずれも、明石洋子さんの講演に刺激を受けて行ったことでしたが、聞き手に共感させるだけでなく、行動までも起こさせるものがあったアツ〜イ講演でした。



講演を聞き、個で取り組むのではなく、様々な人を巻き込んで本人の想いを知り、伸ばしていくことの重要性を改めて実感しました。お忙しい中講演いただき、ありがとうございました。

(記：高杉)

# 電車でGO!!! 目指せ松島!



9月19日にJR仙石線を使い、ミント・バジルグループ合同で松島へ外出してきました! 目的地の松島海岸駅はエレベーターがなく、観光するためには駅構内の長い階段を使う必要がありました。車イスの方と行くのは難しいか…と思われましたが、事前に相談した駅員さんの協力を頂き、総勢4名で車椅子を担ぎながら階段を下りました。やっとの思いで見ることのできた松島の風景や、昼食の新鮮な素材を使った海鮮丼に、利用者もとても嬉しそうでした。

外出時にスロープやエレベーターがなく、行きたい場所に行けない…といった状況は少なからずあります。駅員さんの話では、そうした観光客の声を受け、松島海岸駅にも来年度にエレベーターが新設される予定とのことでした。今後もどんどん外出し、不便さを感じている状況を地域に知ってもらうことで、松島海岸駅のように地域のバリアフリー化が進むきっかけができていけばと思います。(記: 寺島)



## バターを作りました★ @ 宮城蔵王

秋深まる10月、蔵王ハートランドにバジルグループの星佑香さん、水戸勇太さんと行ってきました。曇り空の中を一路、山を登ってハートランドへ。まずは腹ごしらえをと、軽食・喫茶チーズ・シェッドに行き、グラタンやチーズハンバーグを堪能しました。チーズが大好きな佑香さんは、うっ通りの表情でグラタンを完食! 満腹になり、次はチーズキャビンでお買い物! それぞれクリームチーズやナチュラルチーズ、チーズケーキなど、芳醇な香りに包まれながら、楽しくお買い物をしてきました。

そして今回のメインイベント、バター作り体験! 生クリームに牛乳、塩を入れてシェイクシェイク♪とってもふんわりとした、フレッシュなバターができました! (エピローグとして、この後草原の中でヤギにも出会いました!) 利用者の「好き」を追いかけた手作り体験。これからも、どんどん楽しみを広げていきましょうね! (記: 設楽)







# 新幹線で…いざ、念願の東京旅！



「東京に行きたい。」長年想っていたすてきな目標を達成するべく、生江康子さん、槻田朗さん、門真宏太さんと、11月9日、いざ、新幹線に乗って東京へ行ってきました。当日は、あいにくの曇り空でしたが、ワクワクドキドキ胸いっぱい膨らませ、朝早くに仙台駅に集合！

車イスを使用している方が新幹線に乗るためには、事前に予約をする必要があります。そうすることで、乗車する新幹線の三列シートの通路側の座席を撤去し、車イスを使用している方が車イスのまま新幹線に乗ることができます。

当日は、「駅事務室」というところに行き、駅員さんの誘導のもとスムーズにホームへ移動。新幹線とホームの間にスロープを掛けてもらい、乗車！！旅行気分が一気に盛り上がります。仙台を出発し思い思いに過ごしているうちに、気付けば上野駅へ到着。上野からは3人それぞれの目的を果たすべく、別行動です。

生江康さんは「シャンシャンに会いたい！」とのことで、目的地は上野動物園。受付を済ませ入場すると、目の前がジャイアントパンダのコーナーだったのですが、なんとその前には長蛇の列…。恐る恐る待ち時間を確認すると、なんと90分！！迷ったのですが、康子さんから「並ぼう、シャンシャンに会いたい」との言葉に心を決め、最後尾へ。あっという間に列が進み、ついにご対面！立ち止まって見られる時間は少なかったのですが、やぐらの一番上で寝ているシャンシャンを確認！愛くるしい小さな顔がこちらを向いていました。「90分待って良かった！」と笑顔を見せて下さった康子さん。その後はシャンシャングッズを買い、パンダ弁当を食べ、急いでお土産の雷おこしを買いに！あっという間の観光で「また行きたいな、でも次は北海道もいいな」とお話ししながら帰路につきました。



槻田朗さんは、相撲が大好き！仙台場所観戦は欠かせない、朗さんの楽しみのひとつです。そんな朗さんの目的地は当然両国国技館！両国国技館での場所中ではなかったので観戦はできなかったのですが、ちゃんこ鍋に舌鼓を打ち、国技館内にある相撲博物館を観覧してきました。一番のお土産は、その場でしか買えない土俵コースター♪♪

門真宏太さんは、スカイツリーへの旅！日本一高いタワーからの景色は最高で、笑顔弾ける宏太さん♪旅には寄り道が付き物で浅草の街並みに惹かれ雷門や人力車の前でも写真を撮り、旅を満喫しているうちに、宏太さんの万歩計が示した歩数はなんと…10,438歩！！普段は2,000～3,000歩の宏太さん。東京旅を楽しまれたのだなと、とてもうれしく思いました。



三人三色の東京外出。またひとつずつ目標を達成し、すてきな経験・体験を積み重ねていきましょう！（記：榊原）

# 山田鈎取地域防災訓練に参加しました！

10月27日に行われた、山田鈎取地域防災訓練に今年も参加させていただきました。当日はあいにくの雨でしたが、子どもから大人まで地域にお住まいの多くの方が参加されており、山田鈎取地域の皆さんの防災意識の高さとコミュニティーの強さが伺えました。

今回の訓練では、機能別訓練の中の備蓄品運搬・確認と一緒に参加させていただきました。印象的だったのは、中学生の皆さんが主体となって訓練にあたっていたことでした。重い荷物を協力しあいながら運び出している姿や、どんなものがあるのか、どれくらいの量あるのかなどを皆で確認している姿に感心するとともに、高齢化が進んでいる中でとても心強いと感じました。こういった体験や経験が、有事の際に生きてくるのだらうと感じ、改めて訓練の大切さを感じました。

気になったことは、今回の訓練に要援護者と言われる方々の参加が少なかったことです。こういった機会に地域の方と顔見知りになっておくこと、どんな支援が必要なのか伝えておくことで、有事の際に混乱も少なく、協力しながら乗り越えることができるのではないのでしょうか。支援者である私達も地域の一員としてできることを考えていきたいと思いました。(記：庄子)



## 山田ふれあいまつり♪

11月3日、山田市民センターで山田ふれあいまつりが行われました。

つどいの家・アプリも地域の方々との交流を深めるべく、おまつりに参加し、日々の活動で作った販売品を販売させていただきました。たくさんの方々が販売ブースに立ち寄り、販売品を手にとって見てくださったり、購入してくださったりしました。

また、おまつりには様々な団体の出店があり、アプリの利用者も、わたあめや焼き鳥を購入して食べる人、パトカーの前で写真を撮る人、市民センター内で行われたステージを鑑賞する人、各々おまつりを楽しんでいました。天気にも恵まれ、思い出たくさんのでた1日となりました♪(記：笹原)



### \*編集後記\*

2018年も、残すところあとひと月となりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。私の2018年は、好きなアーティスト一色の一年で、コンサートや映画の舞台挨拶など、楽しみがたくさんでした！やっぱり、好きなアーティストを目の前にするのはとても幸せで、すごく感動してしまいました！これからも楽しみを大切に、がんばりたいと思います！（記：榊原）